

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	25022	授業形態	
担当教員	辻本 乃理子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限		
備考			

ゼミ

3. 学部ゼミ・学科ゼミ

学部

全学部 (人間社会学部、商学部、経済学部)

学科

全学科

演習名

辻本乃理子ゼミナール(地域居住学)

概要説明

人が地域で「住む」をテーマに、地域空間のあり方と地域での暮らし・生活について考えていきます。地域には、さまざまな年齢や家族形態の人々が生活しています。乳幼児、児童、青少年、成年、中年、高齢者、また、単身で住む、家族と住む、血縁でない繋がりで住む、そして都市部と郊外、農山漁村など様々な視点で地域における人々の暮らし・生活を見ることができ、さまざまな角度から「住む」ことを考えていきます。また、住宅内での生活から地域コミュニティでの生活、まちづくりまで幅広く扱います。住み慣れた地域や空間で生活するためには何が問題となっているのか、また何が必要なのか、健康で快適に生活するための方法を学生の皆さんと共に追求したいと考えています。また、社会連携・地域連携事業にも積極的に参加します。

学位

博士(学術)

教員よりの要望

日々変化する社会状況に対して広い視野と関心を持つことを望みます。新聞やテレビニュースなどのメディアにも日頃から接して欲しいです。わからないことがあれば、まず自分で調べること。それでも分からなければ恥ずかしがらずに質問、相談するようにしてください。放っておくとさらに状況は悪化します。何がわからないかを自分自身で整理できるようになることが次のステップにつながります。困ったときはほど相談することが大切です。社会連携・地域連携事業に参加し、企業や地域住民に対する政策提案を行うため、ゼミ生同士の協力・コミュニケーション・プレゼンテーションに積極的に参加する意思がある学生の参加を希望します。

教員英字氏名

Noriko Tsujimoto

研究室

研究棟 3407研究室

最終学歴

奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程生活環境学専攻修了

主な研究活動・社会活動・研究業績

<研究テーマ>
都市住民の緑とのふれあいに関する研究、英国における環境NP0の活動に関する研究

主な研究活動/社会活動/研究業績

<審査付き論文>

- 1) 「住民の緑行動と緑意識に見る住宅・宅地開発と緑のあり方に関する研究」奈良女子大学大学院(修士論文)
- 2) 「都市に居住する高齢者の緑行動を促進させる要因-自然環境に関する学習・活動支援を行なう組織の重要性-」日本家政学会誌,第51巻第6号,p509-p519
- 3) 「高齢者の緑行動の変化が日常生活に及ぼす効果」家政学研究(奈良女子大学家政学会)第49号1巻,p29-p42
- 4) 「高齢者ボランティアの指導による地域での自然環境学習の実現-大阪市住之江区での事例」環境情報科学論文集16,p45-p50
- 5) 「都市に居住する住民の緑行動の現状と緑の保全・維持管理に対する参加について」家政学研究(奈良女子大学家政学会)第50号2巻,p35-44
- 6) 「都市居住高齢者の緑行動に対する社会的支援のあり方とその効果に関する研究」奈良女子大学大学院(博士論文)

<学会発表>

- 1) 「自然環境に関する学習・活動支援についての研究-高齢者の緑行動促進への支援の必要性-」日本建築学会2003年度大会学術講演梗概集,F-1,p675-p676(於中京大学)
- 2) 「自然環境に関するリーダー養成講座における学習・活動支援について-高齢者の緑行動支援の必要性-その2-」日本建築学会2004年度大会学術講演梗概集,F-1,p703-p704(於北海道大学)

主な卒業論文のタイトル

- <これまでに指導した卒業論文の例>
- ・小豆島町における空き家問題に関する研究
 - ・介護制度の視点からみた孤独死の予防の可能性-中国の社区サービス-
 - ・卒業後のダンス継続に関する研究
 - ・大学生のスターバックス利用に関する研究-学生の好む空間-
 - ・大学生の食生活と食糧添加物・無添加への興味・関心
 - ・事件から考える高齢者施設における火災について
 - ・麻痺のある方にとって生活しやすい環境とは
 - ・温泉が人に与える影響
 - ・食の保障-在宅における高齢者への食事支援について-
 - ・都市と地方の介護環境の違い
 - ・園芸療法がもたらす効果について
 - ・障害児抱っ子を抱え働くために-地域サポート 学童保育-
 - ・高齢者が住みやすい環境について-西成区を事例に考える-
 - ・奈良県天川村の高齢者の買い物行動について
 - ・高齢者の生きがいのための二地域居住
 - ・現役世代家族介護者の現状と課題-仕事と介護の両立についての一考察-
 - ・家族介護に対する意識の差-介護を学ぶ子どもとその親-

趣味・特技

趣味:パン作り(生地をこねている時が一番好きです。)楽器演奏(中学・高校は吹奏楽部でテナーサックスを吹いていました。たまにOBとして母校の演奏会に出演しています。)茶道・華道(現在お稽古お休み中) ホットヨガ
特技:料理(手早く調理ができます。おいしいと言ってもらえる時が最高です。しかし、毎日の献立を考え、作ることは悩みの種です。)
スポーツは観戦するより見る方が好きです。

所属

人間社会学部 人間社会学科

所属学会

日本建築学会、日本都市計画学会、日本家政学会、奈良女子大学家政学会、日本造園学会、環境情報科学センター、実践経営学会

専門分野

地域居住学、生活環境学、都市計画

選考方法

演習申込書の内容、1年次の単位取得状況および面接によって選考します。研究演習の取り組み(演習、課外活動など)にすべて出席可能であること。社会人としてのマナーを守ることができる人(挨拶ができる、時間と約束を守る、教員からの連絡に対して対応および返事ができる。)イノベーターグラフィ、地域住民との交流など「社会共創プログラム」、「地域連携活動」、「フィールドワーク」に取り組み意欲と参加ができること。ゼミ所属決定後、前期中に活動開始準備をします。大学での学びの集大成として、卒業論文を書くこと。その程度で学んだことを発表し、発表を準備すること。

担当科目

健康生活論、生活環境論、生活マネジメント論、健康社会学、住宅産業論、コミュニティ論、教養特講 (まちづくり学へのいざない、生活科学)、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究

備考

評価方法

ゼミへの出席、課題への取り組み、ゼミでの報告と議論への積極的な参加、社会連携事業への積極的な参加等、総合的に評価します。

実務経験の有無及び活用